

技能五輪国際大会の概要

- 原則22歳以下の青年技能者を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催。幅広い職種を対象とする、**唯一の世界レベルの技能競技大会**。日本選手団は、1962年から参加。これまで日本では、**過去3回国際大会を開催**（1970年東京、1985年大阪、2007年静岡）。
- 国際大会はワールドスキルズインターナショナル（本部オランダ・WSI）により運営されており、**89か国・地域が加盟（2024年9月時点）**。**日本は中央職業能力開発協会（JAVADA）が加盟**。
- 直近では、2024年9月に第47回技能五輪国際大会（フランス・リヨン）が開催。**日本からは47職種に55名の選手が参加し、金メダル5個、銀メダル5個、銅メダル4個を獲得**。
- 今後の国際大会は、**2026年9月に中国・上海、2028年11月に日本・愛知で開催予定**。
- 2025年夏頃に**組織委員会を設立**し、関係機関と連携しながら2028年国際大会の開催に向けて準備を進めていく。

【これまでの開催国】

開催年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2017年	2019年	2022年	2024年
開催国	第39回日本（静岡）	第40回カナダ（カルガリー）	第41回イギリス（ロンドン）	第42回ドイツ（ライプツヒ）	第43回ブラジル（サンパウロ）	第44回アラブ首長国連邦（アブダビ）	第45回ロシア（カザン）	第46回15か国分散開催	第47回フランス（リヨン）
参加国・地域	46	46	48	52	59	59	62	56	60
競技職種数（日本参加数）	47（46）	45（40）	46（39）	46（40）	50（40）	51（40）	56（42）	61（51）	59（47）
参加選手数（日本選手数）	812（51）	845（45）	925（44）	986（45）	1,189（45）	1,251（45）	1,348（48）	989（59）	1,313（55）
日本の成績（金、銀、銅）	金メダル数1位（16、5、3）	金メダル数3位（6、3、5）	金メダル数2位（11、4、4）	金メダル数4位（5、4、3）	金メダル数3位（5、3、5）	金メダル数9位（3、2、4）	金メダル数7位（2、3、6）	金メダル数3位（8、5、5）	金メダル数5位（5、5、4）

【第47回大会の競技職種（59職種）】

日本は59職種のうち47職種に参加

赤字は第46回大会追加の7職種、青字は第47回大会追加の1職種、網掛けは日本選手未出場の12職種

※メダルの表記は第47回大会実績

建設・建築系（13）		アート・ファッション系（6）		情報通信系（7）		製造エンジニアリング系（19）			サービス系（8）		輸送系（6）
タイル張り	配管	貴金属装身具	情報ネットワーク施工	産業機械	製造チームチャレンジ	メカトロクス	美容/理容	自動車板金			
	れんが積み	フラワー装飾	モバイルアプリケーション開発	機械製図CAD	CNC旋盤	CNCフライス盤	ビューティーセラピー	航空機整備			
左官	広告美術	洋裁	業務用ITソフトウェアソリューションズ	溶接	電子機器組立て	工場電気設備	洋菓子製造	自動車工			
家具	建具	グラフィックデザイン	ウェブデザイン	自律移動ロボット	構造物鉄工	インダストリー4.0	西洋料理	車体塗装			
建築大工	造園	ビジュアル販売促進	ITネットワークシステム管理	化学実験技術	水技術	3Dプリント	レストランサービス	重機メンテナンス			
冷凍空調技術	建設コンクリート施工	3Dデジタルゲームアート	クラウドコンピューティング	工業デザイン技術	光電子技術	再生可能エネルギー	看護/介護	物流貨物輸送			
デジタルコンストラクション			サイバーセキュリティ	ロボットシステムインテグレーション			パン製造				
							ホテルレセプション				